基礎演習テーマ構想　第1次

　　　　　　　　　　　　　　　＜　A 班＞　氏名　アンダーランドジェイク

①書いてみたいテーマ・トピックを、数行の文章あるいは論文タイトルの形で、書いてみる（複数でもよい。タイトルはできれば、正題と副題の両方を考えてみる）。

* 1960-70年代のニューレフト運動のポピュリズムの分析。パリの五月革命、アメリカのブラックパンサー運動やフェミニズム運動などを分析し、その根本にあるポピュリズム的要素（「人民」の規定を中心に）を明らかにする。そのポピュリズム的な姿勢（アイデンティティポリティクスという概念に強く現れる）がイデオロギーとして現代に受け継がれ（Antifa 等）、現在興隆を見ている極度なナショナリズムを掲げる右翼ポピュリズムが生まれるきっかけを作った可能性を考察する。また、脱植民地主義と既存の支配階級への反抗の機運が高まった時期においての旧支配階級の人間（主に白人）を、「置き去りにされた人々」と解釈し、カルチュラルアプロプリエーション等を通じた他文化への迎合を「人民」の観点から説明する。この説明により、ニューレフトの左翼ポピュリズムと現在の右翼ポピュリズムが表裏一体であり、同様の心理的動機から出発していることを明らかにする。
* 日本とポピュリズム　―なぜ日本にはポピュリズムが育たないのか－  
  直接民主的要素の欠如と人民の政治的無力感。  
  与党の包摂性と「資本主義的リアリズム」。  
  国民の同質性と、多様性の欠如による「敵」の認識のしづらさ。  
  格差の小ささ、不透明さ。  
  失業率と犯罪率の低さ。  
  社会的変化の遅さ。古いエリートが未だエリートであり、旧来の社会的弱者の発言力や政治的権力の高まりが見えない。
* 日本と移民　―なぜ日本にはポピュリズムが育たないのか－  
  移民の存在の否定→単純労働者とする。移民に関する議論の少なさ。国民の同質性により「敵」が認識されづらい。近年では中韓を「敵」とするポピュリズム的運動も？
* デジタルポピュリズム  
  インターネットと排外主義の親和性。

②すでに存在を把握している関連文献を書き出してみる（練習のため、家永真幸論文にならって完全な書誌情報を記すこと）。

Barrett, Tina. “Japan's Firewall against Populism.” *New Internationalist*, New Internationalist, 6 Feb. 2019, newint.org/features/2018/12/17/feature-japans-firewall-against-populism.

Buruma, Ian. “Why Is Japan Populist-Free? by Ian Buruma.” *Project Syndicate*, Project Syndicate, 10 Jan. 2018, www.project-syndicate.org/commentary/japan-no-populism-reasons-by-ian-buruma-2018-01?barrier=accesspaylog.

Inglehart, Ronald F. and Pippa Norris, 2016, “Trump, Brexit, and the Rise of Populism: Economic have-nots and cultural backlash” (RWP16-026). Retrieved from HKS Faculty Research Working Paper Series, June 17, 2019. Harvard Kennedy School.

Keizer, Garret. “Nihilist Nation.” *The New Republic*, The New Republic, 25 Oct. 2018, newrepublic.com/article/151603/nihilist-nation-empty-core-trump-mystique.

福田直子、二〇一八、『デジタル・ポピュリズム-操作される世論と民主主義』集英社新書。

水島治郎、二〇一六、『ポピュリズムとは何か−民主主義の敵か、改革の希望か』中公新書。